附属小 研究だより

2023.12
VOL. 64

詳しくは裏面をご覧ください

4年ぶりの対面での開催

ご挨拶

師走を迎え、何かと慌ただしい時期となりました。皆様方におかれましては、学校教育活動にご尽力いただいていることと拝察いたします。

さて、年が明けますと、いよいよ本校研究発表会の日が近づいてきます。本校は一昨年度から「学びをたのしみ自律共創する子ども」を研究主題として掲げ、日々の実践に取り組んで参りました。学びの主体者を子どもとし、個別最適な学びと協働的な学び、それぞれの学びを一体的に充実し「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に向けて、それぞれの教科等で成果と課題を明らかにしながら取り組んできました。

本年度の研究発表会は、４年ぶりに対面開催を実施いたします。私たちが取り組んできたことを直に参観いただき、一緒にこれからの時代に求められる子どもたちの学びについて考えていくことができれば幸いです。

なお、講師としては、自己調整学習、メタ認知について研究されている香川大学教育学部　岡田涼准教授においでいただきます。

皆様の参加を得て、実りある研究会にしたいと思います。本校で会えますことをたのしみにしております。

熊本大学教育学部附属小学校　校長　中野　浩幸

令和５年度研究発表会のご案内

POINT

「学びをたのしみ自律共創する子どもの姿」について
本時の授業を基に語り合いましょう！

ポイント　学習の個性化を支える学習環境の具体を提案します！

- ○ 子どもたちが自分の学びの舵取りをしながら，学びをたのしむために大切な学習環境デザインを提案します。
- ○ ４年ぶりに対面での開催となります。一人一人の学びを是非ご覧ください。

研究主題

学びをたのしみ自律共創する子ども
～学習の個性化を支える学習環境をデザインする～

日　時　令和６年２月10日（土）８：５０～１５：５０

8:00	8:50	9:00	9:45	10:00	10:45	11:00	12:30	13:30	15:50
受付	開会	公開授業Ⅰ	移動	公開授業Ⅱ	移動	各教科等分科会	昼食	全体会・講演	閉会

会　場　熊本大学教育学部附属小学校

内　容　対面による各教科等の授業公開・分科会・講演

講　師

香川大学 准教授　岡田 涼 先生

著書
『やる気をひきだす教師：学習動機づけの心理学』（金子書房）
『自ら学び考える子どもを育てる教育の方法と技術』（北大路書房）
『教師として考えつづけるための教育心理学』（ナカニシヤ出版）
『子どもと大人の主体的・自律的な学びを支える実践』（福村出版）

附属小学校ホームページのご紹介

新しいコンテンツ続々登場!!

- **授業研究最前線**
  臨場感あふれる各教科の取り組みを随時更新します。
- **実践・研究ブログ**
  校内で行われた最新の授業実践が掲載されます。

©2010熊本県くまモン

https://elem.educ.kumamoto-u.ac.jp　熊大附属小　検索

附属小学校ＳＮＳ

本校の実践を SNS で発信しています。共に熊本の教育を充実・発展させていきませんか？

熊大附小公式 Facebook　熊大附小 LINE 公式アカウント

熊本大学教育学部附属小学校　研究だより VOL.64
発　行　日　令和５年 12 月 21 日
編集・発行　熊本大学教育学部附属小学校　〒860-0081 熊本市中央区京町本丁 5-12　TEL 096 (356) 2492　FAX 096 (356) 2499

学習の個性化を支える学習環境をデザインする

研究部長　磨田　慎太郎

コロナ禍を経て、子どもたちの学習の様相が大きく変わりつつあります。学校にいること、友達と言葉でやり取りをすることなど、今まで当たり前だと思っていたことができなくなった一方、これまでとは違った子どもたちの一面も見ることができました。面と向かって話すよりも、文字にして伝えることで安心してコミュニケーションを取れる子、日々の時間がゆっくりと流れていくので、オンライン授業が終わった後にも自分の気が済むまで探究する子。これまでの学校とは違う環境におかれた子どもの姿から、一人一人の学びについて改めて見つめ直すことができました。そこで本年度は、サブテーマを「学習の個性化を支える学習環境デザイン」と設定し、一人一人の学びを豊かにしていくために教師ができることを、実践の中から探ってきました。

研究発表会では１５本の公開授業を基に、今年度の実践を通して見えてきた「学習環境デザイン」の在り方を提案いたします。子どもたちが「対象世界に没頭するたのしさ」「仲間とともに創り出すたのしさ」「自分なりの意味や価値を発見するたのしさ」を見いだし、自律共創する学びの姿をご覧いただければと考えております。ご参会お待ちしております。

公開授業Ⅰ

国語科　第３学年　「モチモチの木」
様々な人物になってみることで豆太の性格を想像する授業

登場人物の性格を想像する学習に適した言語活動とはどのようなものでしょう。本実践では、「豆太」や「じさま」、「語り手」など様々な視点から豆太について語ることを通して、複数の叙述を結び付けながら、豆太の性格を想像していく授業を提案します。（木下　忠志）

社会科　第４学年　「神楽に学ぶ伝統の継承」
実社会の営みから自分たちの営みへ

伝統文化の継承に取り組まれている方々の願いや工夫等を生かすにはどうしたらよいのでしょうか。今年は、２つの神楽保存会の方々とのかかわり合いを通して、１５０年続く附属小の伝統をどう受け継ぐのかという課題の解決に迫る授業を提案します。（村上　春樹）

算数科　第１学年　「まとまりをつくって数えよう」
数についての感覚を豊かにする授業

「大きい数」の学習において、教師が１０のまとまりの個数と端数の見方へと促す意図が強いことにより、数を一面的に捉えてしまうことがあります。一つの数を合成や分解により構成的にみる中で、数についての感覚を豊かにする授業を提案します。（東野　臣祐）

理　科　第３学年　「探れ！ものの重さのふしぎ」
実感を伴いながら「重さ」を捉え直していきます

子どもたちは体積が大きいものほど重たいと考えがちです。そこで、身近な物の重さを比較し、物質ごとの重さの違いを調べたり、形を変えて重さを調べたりする中で、同体積で調べることの重要性に気付き、重さの概念を更新していく子どもの姿をお見せします。（牛嶋　克宏）

理　科　第４学年　「解き明かそう！金属のふしぎ」
金属がより膨張するのはどんなとき？

金属を温めたときのごくわずかな体積変化や熱の伝わり方を、生活の中で実感する場面はなかなかありません。そこで、金属がより膨張する条件を探る活動を通して、熱膨張や熱伝導に着目しながら金属の性質を追究していく授業を提案します。（赤星　愛）

体育科　第３学年　「サイドシュートゲーム（ゴール型ゲーム）」
仲間とボールを運びシュートをするたのしさを味わうために

自分の動きを高めてきた段階から、中学年では仲間と力を合わせゲームに取り組んでいきます。ボールを運んだり、シュートをしたりするために、自分はどこに動くとよいのかを試行錯誤しながら「ボールを持たないときの動き」の視点を広げていく授業を提案します。（是住　直人）

道徳科　第５学年　「困難をどう捉える?『真の看護を求めて～ナイチンゲール～』」
「真理」を探究した先人の生き方からなりたい自分を更新する授業

原因不明で亡くなる患者を前に、その原因を追究し続けたナイチンゲール。先人の困難な状況をどう捉え、向き合ったのかを話し合います。そして困難に立ち向かう中で明らかになる真理を多面的・多角的に捉え直し、なりたい自分を更新する授業を提案します。（山平　恵太）

外国語科　第６学年　Tell Us Your Future Story
語り合うことを通して気付く自分の可能性

卒業を控えた６年生が、自分の未来や挑戦したいことについて、同年代の友達と語り合います。外国語専科と担任が連携して教科横断的な取組を行い、学習したことを活用しながら表現する活動を通して、互いを勇気づけるような学びの姿を提案します。（髙田　実里）

公開授業Ⅱ

国語科　第５学年　「大造じいさんとガン」
大造と二人の「わたし」で創る対話的な学び

情景描写が豊かな本作品。どうすればその効果に目を向けながら、大造のものの見方の変化を捉えていけるでしょうか。本実践では、語り手と読み手、二人の「わたし」の立場から、表現の効果に着目し、考えを形成していく対話的な学びを目指します。（溝上　剛道）

社会科　第５学年　「未来の暮らしをまもるために全国の風水害調査官になろう」
公助の内実を追究していく子どもの姿

自然災害に対する公助を中心に取り扱う本単元。「公助とはなにか」の表面のみの知識を得ることに終始しがちです。そこで、調査官という立場で風水害の被害や、土地の様子等を関連付けて全国の公助を調査する中で、公助の内実にまで目を向ける姿を提案します。（白石　和真）

算数科　第４学年　「図を使って倍の見方を広げよう」
図を手がかりにしながら、「倍」の意味を捉える授業

小数の倍の学習で、言葉の式に数値を当てはめて、その答えを求めるだけでは、「倍」の意味を拡張して捉えるには不十分だと思います。そこで、子どもたち自らが図を根拠に立式し、その図から「倍」の意味を捉えていく授業を提案します。（内田　武瑠）

理　科　第６学年　「作ろう！マイ防災ライト」
コンデンサーの機能をものづくりに生かしていく授業

６年生で初登場するコンデンサー。実験では充電・放電を検証するだけになりがちです。そこでコンデンサーの機能を生かして、貯めた電気をどのように利用したいかを考えながら、自分たちのものづくりに生かしていく授業を提案します。（柿原　智明）

音楽科　第４学年　「見つけた！郷土の音楽の魅力」
熊本のよさを伝える CM ソングをつくろう

熊本の童歌「あんたがたどこさ」。日本中で広く知られるこの歌には、旋律を印象付ける音楽の仕組みが多用されています。聴く人の心に残る熊本の CM ソングづくりの中で、音楽の仕組みのよさや面白さに気付きながら活用していく学びの姿を提案します。（上原　正士）

体育科　第６学年　「スルー＆スローゲーム」（ゴール型）
状況を判断しながら仲間と連携するたのしさを

ゴール型では、守備を突破し得点するたのしさがありますが、状況が変化し続けるため、意図的に動くことに難しさを感じる子もいます。そこで、その場に応じた判断をしながら仲間と連携することにより、チームとして動きを高めていく授業を提案します。（西　沙織）

保健・健康教育　第４学年「これがおすすめ！成長につながる心と体の健康ガイド」
個々の生活状況に合わせた健康生活への取り組みとは

健康に関する課題を感じ、生活の改善に取り組むものの、一時的な取組となってしまうことがあります。そこで、取組の振り返りや友達との対話を通して行動を見直し、再実践する子どもの姿をご提案します。（村上　朋美・赤星　愛）

研究発表会 参加申し込み QR コード

一般会員 QR ｺｰﾄﾞ

学生・附属学校園 QR ｺｰﾄﾞ